

# 北上川上流流域下水道「東仙北汚水中継ポンプ場」運転開始!

～ 下水道 水が笑顔に なる道 ～

北上川上流流域下水道事務所

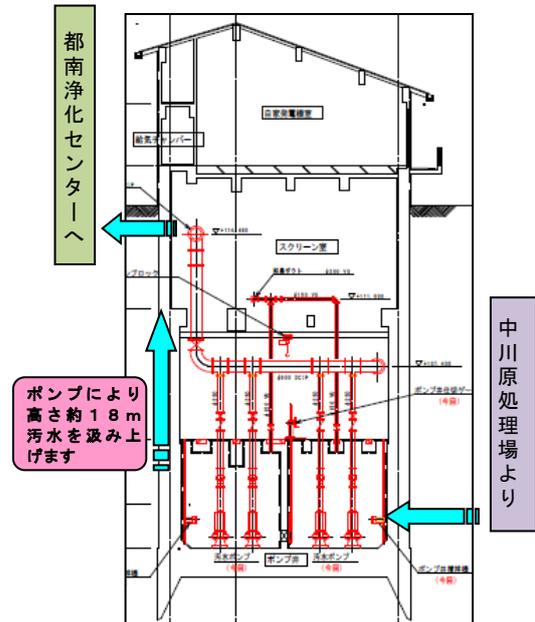
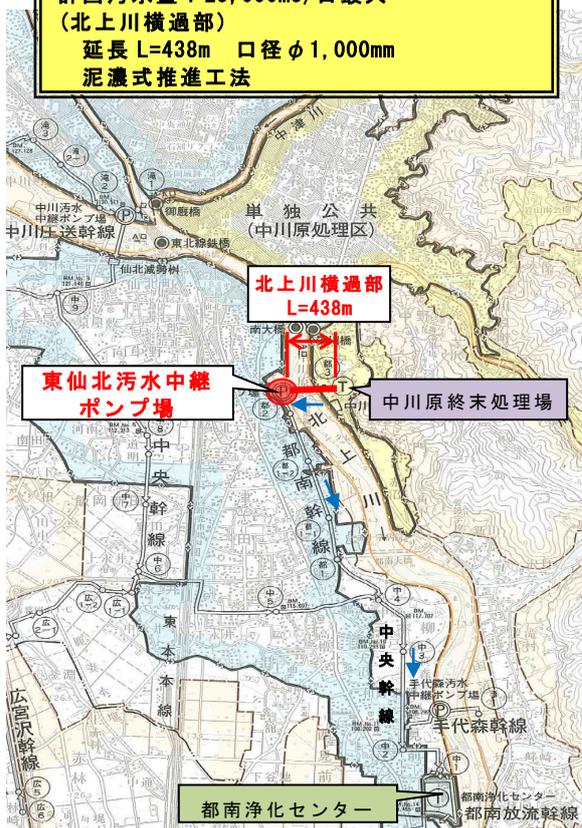
県が平成17年度から整備を進めてきた北上川上流流域下水道事業の「東仙北汚水中継ポンプ場」が平成25年3月に完成し4月から運転を開始しました。

東仙北汚水中継ポンプ場は、盛岡市単独公共下水道中川原終末処理場に集まる汚水を受け入れて都南浄化センターまで送り出すためのポンプ場であり、これにより、汚水は都南浄化センターで処理し、中川原終末処理場は大雨時の雨水処理を行う施設となります。

中川原終末処理場から東仙北汚水中継ポンプ場までの北上川横過部分は、河床から深さ5mの位置に推進工法により汚水管を埋設しました。



**【事業概要】**  
 事業期間：平成17年度～平成24年度  
 事業費：約11億円  
 施設位置：盛岡市東仙北二丁目地内  
 主な施設：水中汚水ポンプ4台(1台予備)  
 揚水量9.2m<sup>3</sup>/min/台×3台  
 計画汚水量：25,000m<sup>3</sup>/日最大  
 (北上川横過部)  
 延長L=438m 口径φ1,000mm  
 泥濃式推進工法



ポンプ場本体は、地下の深度が21mと深いことからニューマチックケーソン工法で施工しています。

本体が土留兼用になることや、周辺井戸への水枯れ等の影響がない等の利点があり、また地下を掘削して作業する場合に比べてクラックの発生が少なく、品質向上が図られました。

東仙北ポンプ場の完成により、県の流域下水道で計画している施設の大規模な新設工事は全て完了し、今後は、処理場の増設と流域幹線管渠の延伸を進めながら、施設更新工事を主体にして施設の維持管理を行っていくこととしています。